

# 図書館だより

伊丹市立荒牧中学校  
令和元年7月発行

いよいよ夏休みです。2019年度夏休みすいせん図書の紹介をします。  
参考にしてください。夏休みの貸出は**7月5日(金)**からです。1人**5冊**まで  
課題・すいせん図書は**7月10日(水)**お昼休み一斉に貸出します。  
返却は **9月4日まで**です。2学期の開館日は**9月6日(金)**です。

## 7月の開館日

**1(月)・3(水)・10(水)・12(金)・17(水)です。**

## すいせん図書



「あたしが乗った列車は進む」 ポール・モーシャール

ママとおばあちゃんを亡くし、一度も会ったことのない大おじさんに引き取られる事になった「あたし」。シカゴへ向かう旅の間にいろいろな人に出会います。ひとりで乗った長距離列車の3日間の物語。



「奏のフォルテ」黒川 裕子

ぼくは勇気が欲しい。自分ひとりの音だけに満たされた防音ルームから飛び出して、誰かの心に踏み込む勇気。そのことで、傷ついたってかまわないと思えるぐらいの勇気が。ホルン奏者、遠峰 奏 14歳の「愛」を探す輪舞曲。



「カーネーション・デイ」ジョン・デヴィット・アンダーソン

12歳のトファー・スティープ・ブランドは担任ビクスビー先生の「理想の最後の日」を叶えるために、学校をサボってお見舞いに行くことにしたが……。大人になって思い出す<特別な一日>を描いた少年たちの冒険物語。



「給食アンサンブル」如月 かずさ

転校先に馴染むのを拒む美貴、親友の姉に恋をする満、孤独な優等生の清野……。悩みを抱く中学生6人の揺れる心が給食をきっかけに変わっていきます。やさしく胸に響くアンサンブルストーリー。



「ジュリアが糸をつむいだ日」リンダ・スー・パーク

親友パトリックと一緒に、カイコを育てて生糸を取る自由研究をすることになった7年生の韓国系アメリカ人のジュリア。でも「韓国っぽい」研究だと気乗りがしなくて……。アイデンティティの悩みに向き合う少女の思いを描いています。



「その景色をさがして」中山 聖子

母親を亡くし祖父母と一緒に暮らす中学2年生のトーコ。ある日トーコは母親のノートに挟まれていた1枚の見覚えのない絵ハガキを見つけます。肉親との別れ、恋などを通して成長する女の子の姿を描いています。



「地図を広げて」岩瀬 成子

弟の圭に4年ぶりに会ったのは、2ヶ月前のお母さんのお葬式だった。中学生の鈴とお父さんが住むマンションに、一緒に暮らすことになった圭がやってきて……。



「天地ダイアリー」ささき あり

木下広葉、潮風第一中学校1年A組。マスクをしないと家から出られないぼくは、スクールカーストの中で下層にいる。淡々と作業をすれば良さそうな栽培委員会にはいったけれど、そこは、個性的なメンバーばかりで……。



「ドリーム・プロジェクト」濱野 京子

中学2年生の拓真は、かつて過ごした古い家を懐かしむ祖父を気にかけていた。家屋の修繕を願っていた拓真はクラウドファンディングで古民家再生を試みるようになります。